

令和3年3月31日(水) 提出

無記入・日付が異なる場合は再提出となりますのでご注意ください。

(見本)

令和2年度 活動成績報告書
調査部門団体
総務部

部長と主将の名前が記載されていない場合は再提出となりますので注意してください。

学友会総務部 部長 _____

学友会総務部 主将 _____

- 1、**部員数**（令和3年3月21日(日)現在）
11名（4年生1名、3年生2名、2年生5名、1年生3名）

日付は令和3年3月21日(日)現在とし、令和2年度の4年生の人数も記入してください。

2、活動日

- 第3木曜日クラブ・サークル代表者会議(ブログ更新)
その他会議・行事によって活動(オンライン)

3、活動行事日程

- 4月 第1回クラブ・サークル代表者会議(ブログ報告)
- 5月 第2回クラブ・サークル代表者会議(ブログ報告)、第1回審議委員会(オンライン)、第1回クリーン大作戦(中止)
- 6月 Web オープンキャンパス(動画協力)、学友会春季総会(資料配布、承認連絡のみ)、第3回クラブ・サークル代表者会議(ブログ報告)
- 7月 大クリーン大作戦・千葉県岩井海岸清掃(中止)
- 8月 活動見合わせ
- 9月 日体大スポーツ(ブログ更新)
- 10月 第3回クリーン大作戦(中止)、第4回クラブ・サークル代表者会議(ブログ更新)、オープンキャンパス補助学生(東京・世田谷キャンパス)
- 11月 第54回日体フェスティバル2020(中止)、新入生歓迎式典(部活動勧誘会)、第5回クラブ・サークル代表者会議(ブログ更新)、大クリーン大作戦第2弾(中止)、第2回審議委員会(Microsoft Teams)、第4回クリーン大作戦(中止)
- 12月 オープンキャンパス補助学生(世田谷キャンパス)、学友会秋季総会(Microsoft Teams)、第6回クラブ・サークル代表者会議(ブログ更新)、日体大スポーツ(ブログ更新)
- 1月 第97回東京箱根間往復大学駅伝競走取材(自宅観戦、オンライン取材)、第7回クラブ・サークル代表者会議(ブログ更新)、第5回クリーン大作戦(中止)

2月 第31回リーダーズキャンプ参加者説明会(Microsoft Teams)、日体大スポーツ第88号制作(22日入稿～3月15日発行)

3月 第31回リーダーズキャンプ(Microsoft Teams)、クラブ・サークル合同説明会事前説明会(Microsoft Teams)、日体大スポーツ第89号制作(16日入稿～4月3日発行)、オープンキャンパス補助学生(東京・世田谷キャンパス)

4、活動行事内容報告

活動ごとに詳しく
記入してください。

①クラブ・サークル代表者会議

参加対象者である各学友会団体代表者に対し、総務部や大学事務からの情報を発信する場とする。今年度は報告事項や連絡事項を総務部ブログで発進した。

第1回：令和2年度代表者登録用について、令和2年度クリーン大作戦について、社会貢献活動事前申請書・事後報告書添付、部副申請書添付、学友会組織及び学友会スローガンについて、学友会行事の予定について、学友会配当金に関わる参加ポイントについて、学友会総務部からの連絡方法について、日体大スポーツ大会結果・予定について、新入生に向けた学友会団体の情報発信について

第2回：令和2年度学友会春季総会について、クリーン大作戦について、第54回日体フェスティバル2020について

第3回：令和2年度学友会春季総会について、日体大スポーツ大会結果・予定について

第4回：日体大スポーツ大会結果・予定について、1年生向け勧誘事業(クラブ・サークル説明会)の実施について、2019年度社会貢献活動事後報告書について、2021教育標語募集について、卒業アルバムの学友会団体集合写真・活動写真について

第5回：第31回リーダーズキャンプについて

第6回：令和2年度学友会秋季総会について

第7回：日体大スポーツ写真提供の依頼について、日体大スポーツ団体紹介について、日体大スポーツ大会結果・予定について、第31回リーダーズキャンプについて、令和3年度日本体育大学 学友会総務委員会役員等候補について

総務部

2021.01.21

【報告事項】第7回クラブ・サークル代表者会議

本日・1月21日(木)に開催予定でした、第7回クラブ・サークル代表者会議は本ブログに代えさせていただきます。

重要な連絡ですので、必ずご確認ください。

また、回答が必要なものは必ずご回答いただきますようお願い致します。

【日体大スポーツについて】

日体大スポーツ第88号の制作に伴い、今年度下半期の大会結果と来年度上半期の大会予定の調査を行います。

また、卒業生との写真の募集、新入生に向けての活動情報収集も併せて行います。

詳細は添付資料をご確認ください。

[日体大スポーツ大会結果予定について.pdfをダウンロード](#)

[日体大スポーツ写真提供について.pdfをダウンロード](#)

[日体大スポーツ団体紹介について.pdfをダウンロード](#)

【第31回リーダーズキャンプについて】

第31回リーダーズキャンプに参加予定の学生は、事前説明会の出席の可否を資料内のQRコードから回答をお願い致します。

このように活動が分かるような写真や説明を添付してください。

◀クラブ・サークル代表者会議の内容を報告している総務部ブログ

②審議委員会

年に2回、学友会規約の準拠に関する事、各クラブ・サークル同好会の部則及び会則に関する事、その他学友会の目的達成に必要な事項等について学友会執行部と総務部部員で審議を行なった。

第1回：2019年度学友会活動報告、第30回リーダーズキャンプ実施報告、学友会におけるスローガンについて、2019年度学友会収支決算報告、学友会における基本姿勢・基本方針について、令和2年度予算案、令和2年度収支予算案、令和2年度総務部活動費予算案、令和2年度特別活動費予算案、令和2年度日体大スポーツ予算案、学友会団体の取り扱いについて、学友会内規改正について、令和2年度学友会活動計画、クリーン大作戦について、令和2年度日体大スポーツについて、第31回リーダーズキャンプについて、令和2年度学友会祝勝会について

第2回：令和2年度下半期学友会活動計画、第31回リーダーズキャンプ実施計画、令和3年度体育大学学友会総務委員会役員等候補について

③学友会総会

学友会における事項及び規約・会計並びに大学の支援に関することを行う最高議決機関である総会の運営・進行を行う。例年の出席対象者は部長及び各団体学生代表者4名(主将・副主将・主務・会計の学生責任者又はそれに準ずる者)としているが、今年度は各団体から1名に出席していただいた。

春季総会は団体の代表者に資料を送付し、承認の返答をもらう形に、秋季総会はMicrosoft Teamsを活用して行なった。オンラインで実施の際は、決議の際には手を挙

げるの機能を使用し、視覚的に分かりやすく、出席者全員が総会に参加し決議を行う。

春季総会：2019 年度学友会活動報告、第 30 回リーダーズキャンプ実施報告、学友会スローガンについて、学友会における基本姿勢・基本方針について、令和 2 年度 学友会収支予算案、学友会団体の取り扱いについて、学友会規約内規改正について

秋季総会：令和 2 年度下半期学友会活動計画、第 31 回リーダーズキャンプ実施計画／学友会団体の取り扱いについて、令和 3 年度日本体育大学ガキ誘拐総務委員会役員等候補について

④クリーン大作戦・大クリーン大作戦

地域貢献活動・社会貢献活動の一環として、学友会団体が両キャンパス周辺・日体大生が主に使用する地域で清掃活動をするクリーン大作戦の運営を年 7 回行なっている。この活動は、清掃による地域貢献だけでなく、学生の美化意識の向上や日体大生がどのような学生なのか地域住民や世間に公開し、より良好な関係を築き上げることを目的としている。しかし今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりクリーン大作戦、大クリーン大作戦共にすべて中止を余儀なくされた。

⑤総務部研修

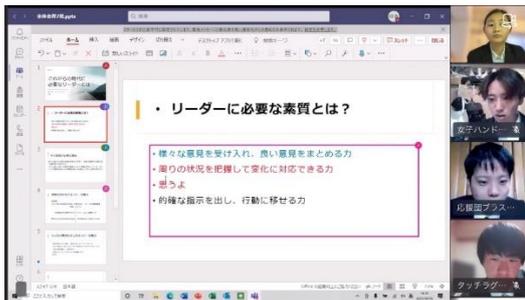
令和 3 年 2 月 3 日に Microsoft Teams を活用し総務部研修を行った。今年度はリーダーズキャンプが初のオンラインでの試みであったため、リーダーズキャンプで行われる分科会のリハーサルを行なった。オンラインでの実施に関して不透明な点が多かったことや 1 年生のファシリテーションの練習の場として活用したが、非常に有意義でありリーダーズキャンプを成功に導くことができた大きな要因となった。

- a.分科会①を 40 分に短縮して実施。
- b.分科会②を 50 分に短縮して実施
- c.司会進行も含めた全体会練習
- d.反省会

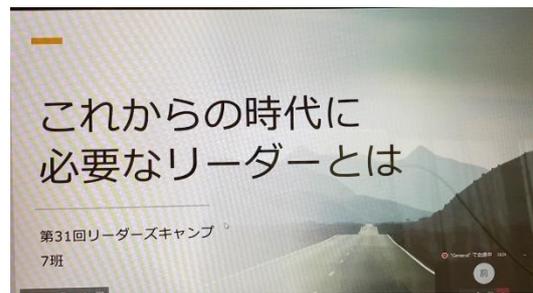
⑥リーダーズキャンプ

令和 3 年 3 月 4、5 日に Microsoft Teams を利用し、参加団体を 2 日間に分けて実施。約 140 名の各クラブ・サークルの次年度主将や次年度副主将を対象に、リーダーについて考える時間を設けた。このリーダーズキャンプは、質の高いリーダーの育成、リーダー同士の親睦を深めることを目標に運営しており、参加者は 12 班に分かれ「これからの時代に必要なリーダーとは」というテーマで分科会を行い、各日の全体会にて班で話し合った内容を発表した。オンラインでの実施は我々総務部にとっても初の試みであり、内容と時間の配分など直前まで検討を重ねていたが、どの班でも

対面に近い質での話し合いが行われ、オンラインであってもリーダーズキャンプを実施したことに大きな意義を感じた。



▲分科会の様子



▲全体会での発表の様子

⑦日体大スポーツ(学生新聞)

今年度は第 87、88 号を発行した。日体大スポーツでの取材対象は本学学友会団体とし、購読対象は、本学学生・保護者(保護者会より郵送)・その他関係者としている。第 87、88 号は 11,000 部を発行。例年発行している夏季と冬季の号に関しては新型コロナウイルス感染症の影響で大会や発表会の中止が相次ぎ、取材、制作ともに困難であったため紙面での発行は実現できなかった。発行した号は両キャンパスの学生食堂前や学生支援センター、図書館等に設置し、多くの学生の手に渡る環境を作っている。発行できなかった夏季と冬季に関してはコロナ禍での練習風景や自主練習の様子を取材し、総務部ブログないで取材報告を行なった。

▼2019 年度日体大スポーツ取材実績

合気道部、空手道部、硬式野球部、ソフトテニス部(男子)、トランポリン競技部、バスケットボール部(男子)、ホッケー部、ラグビー部(男子)、陸上競技部(駅伝ブロック)、応援団部、研修部、アルティメット・チーム、タッチラグビーサークル、伝統芸能・和太鼓同好会



▲新聞社(東日印刷)での作業の様子

⑨クラブ・サークル合同説明会(部活動勧誘)

例年、新入生を対象に学友会団体の認知度向上や加盟率増加、各団体の部員獲得の補助、新入生が自身に合った団体を発見するための手助けを目的に運営を行なっている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりクラブ・サークル合同説明会は、各学友会団体の連絡先一覧を N-pass に掲載するにとどまった。しかし、11月に行われた新入生歓迎式典の後の時間を利用し東京・世田谷キャンパスにて「新入生部活動勧誘会」を実施した。団体を教室に振り分け、1教室あたりに入る人数を制限するなど感染症対策の徹底には細心の注意を払った。

大会名や順位、活動内容なども具体的に記入してください。

5、次年度の活動目標等

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、クラブ・サークル代表者をはじめほぼすべての会議や学友会行事を中止せざるを得なかった。しかし、その中でも令和2年度学友会秋季総会や第31回リーダーズキャンプはこれまでにない『オンライン』という形に挑戦し、それぞれ非常に有意義な時間になったと感じている。

来年度は今年度経験したことを基に、変化に柔軟に対応しながら各会議や学友会行事ができる形に変えながらも中止ではなく、実施していくことを目標とする。そのためには、学友会団体の協力が不可欠であるため、まずは信頼される団体になること、そして総務部を中心に学友会団体が結束し、他の学友会会員も様々な場面に巻き込むことができるようにしていく。主将の連絡先を一括管理し、Microsoft Teamsにて代表者のチームを作成しておくなど学友会団体との連携を密にとれる状態にしておく。

クラブ・サークル代表者会議は、状況に合わせてオンラインでの実施やサテライトでの出席が可能となるよう会議形態を検討していく。会議内容は一昨年通り、事業担当がその事業に関する資料を作り、会議で報告する形にすることで、事業に対する責任感や総務部員としての自覚を持つことができるようにしていく。

今年度の総務部研修では第31回リーダーズキャンプに向けてファシリテーション練習を行ったが、次年度は再び他大学の同系組織と交流しコロナ禍での活動の工夫や今後に向けた工夫などを学ぶことで自分たち総務部の力とし、今後の成長につなげていきたい。

また、社会貢献活動の一貫であるクリーン大作戦も大人数での活動を避けることや団体間での交流を避けるといった観点から、今年度は全て中止とせざるを得なかった。そのため今年度導入を目指していたゲーム形式での清掃活動を実施することができなかった。今後も、今までと同じ形態でのクリーン大作戦の実施は難しいと考えられるため、実施形態の工夫や、別の形での社会貢献活動を検討し積極的に行なっていきたい。

日体大スポーツにおいては、東京オリンピック・パラリンピック関連の取材や掲載を検討していたため非常に残念な結果となった。しかし、紙面の制作こそできなかったもののコロナ禍で工夫して練習に励んでいる学友会団体の紹介をすることができ、その中には通常の紙面ではなかなか取り上げられていない団体など含まれるなど団体との関りを広くするこ

とができた。次年度は東京オリンピック・パラリンピックの開催も再検討されており、130周年を迎える本学にとっても節目となる年であるため、さらに取材の幅を広げ紙面の制作に励みたい。また、様々な事業をオンライン化していく中で得た人脈を大いに活用し、これまで以上に大学生活や学友会団体に密着した紙面にしていくことを目標とする。

本部は後期になって様々な事業でのオンライン化を図り活動を再開し始めた。次年度は部員のオンラインコンテンツに関する知識の向上やルール・マナーの再確認を行い、より円滑且つ発展的な事業の実施をするとともに、このような時期だからこそ各団体や学友会会員とある意味で密にかかわり学友会の発展に寄与していく。このような出来事があり弊害をマイナスに捉えがちであるが、逆手にとることで発展や進化の兆しが見えてくると考え、積極的に新しい取り組みも挑戦していくことを目標とする。

以上のことを踏まえ事業に真摯に向き合い、準備の徹底・反省点の改善を行い各事業に取り組んでいきたい。本部は、次年度も本学学友会の発展に寄与できるよう部員一丸となって事業に取り組んでいく。